

《2025年3月 聖書の言葉》

「わたしは、あなたと共にいる。」

旧約聖書：イザヤ書 43 章 5 節

三月、年長さんは、卒園の季節を迎えました。年度最後に蒔く種は、「約束」の言葉です。『わたしはあなたと共にいる』このお言葉では、わたしは神様。あなたとはみなさんです。『神様はあなたと一緒にいる』という約束が、祈りを込めて、あなたの心へ蒔く種となりました。

この日まで、思い出がいっぱい詰まった毎日と一緒に過ごしてきましたから、別れは辛い気持ちだと感じています。ですが、みなさんが前進するための巣立ちですから、見送らなくてはなりません。では、お別れの時に伝えるべきかと思い巡らしました。突き詰めてゆけば、一事に尽きる、それはいつもと同じで、お祈りをして、お別れするのがふさわしいと示されました。

こども園での毎日には、うれしいときがあれば、悲しいときもありました。病気の時があれば、元気いっぱいの日もあり、笑顔の時があれば、涙の時がありました。そのいずれの日にも神様にお祈りしてきました。お祈りは、私たちルーテルが創立して以来、ずっと続けてきた基本メソッドです。

お祈りする中で心に収め続けてきた、「神様があなたと一緒に」という約束が、不安な心を落ち着かせ、安心を生み出し、幼き心に意欲と勇気が根付くと信じ、伝えてきた教育・保育の大事でした。



聖書には、「主なる神は、人を形づくり、その鼻に息を吹き入れられた」と記されています。神様が最初に人間をつくった時、その鼻にふ〜と息を吹き入れた。すると人間は生きる者となった。いかにも不思議な話ですが、息を吸う・息を吐く。すべての命に与えられた、必要な生きるための仕組みが定められた私たちです。息が止まるとどうなる？生命が終わりになりますね。“吸って、吐いて〜、吸って、吐いて〜”

神様がわたしに、生きる力を届けているんだ！今、この時も。あなたはひとりではない！という気持ちが湧いてくる、そう信じて、たくさん、聖書の言葉の種蒔きをして、一緒に育んできました。

さあ、行きましょう。たとえあなたが、ルーテル以外のどこにいても、今日も育みの太陽、水、空気が、天の神様から届いていますので、大丈夫。 これからも、毎日、お祈りしています。

(チャプレン 白川道生)